科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	中国語ＩＡ（演習） C1210 Primary Chinese A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　江田　憲治		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・前期	曜時限	火4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業は、初めて中国語を学ぶ学生を対象にしたものであり、簡単なスキットと初歩的な文法事項を段階的に学びながら、読む、書く、聞く、話すといった能力を身につけてゆく。この授業では特に発音練習、リスニングを重視し、中国語の運用能力を伸ばしてゆくことを目的とする。文法の授業と連携したかたちで、授業をすすめる。

[到達目標]

中国語の発音体系を充分に理解した上で、基本的な中国語の聞き取り能力と表現能力を身につける。中国の首都である北京を舞台としたスキットを題材として、広く中国の文化、更には異文化に対する理解を深める。

[授業計画と内容]

最初の２、３回の授業では、まず中国語の表音システムであるピンイン（ローマ字綴り）の学習を通じて中国語の発音体系のあらましを体得する。それに続いて、正確な発音や基本的な聞き取り能力の養成、表現力の習得を目指す。前期は発音編と本文編第十課までを学びながら、特に、基本的な文章をきちんと発音し、また聞き取れるようになることをめざす。原則として1回の授業で１課を学習する。また、フィードバック方法は別途連絡する。
なお、Web上にも教材や練習問題の音声を置き、履修生には24時間自由なアクセスを認め、その自学自習を支援する。
本授業は、所定の文法の授業と連携して行われるため、かならずセットで履修しなければならない。この授業だけの履修は認められない。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として定期試験80%、平常点20%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。
　正確に中国語を発音出来ることと、基本的な文型及び語彙の聞き取り能力が評価の基準となる。

[教科書]

赤松紀彦　他『中国語の世界　ー上海2018』（大地社）

[参考書等]

（参考書）
詳細な学習方法や、辞書及び参考書については、最初の授業や授業の中で紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

Web上に教材や練習問題の音声を置く。24時間自由にアクセスできるので、必ず授業前に発音・聞き取りの練習をしておくこと。また、練習問題が宿題となることもある。必ず復習とともに練習問題等の課題を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

最初の授業において紹介する。